

## 米エリートが狂ったように、何か大きなことに備えている

【訳者注】不可解で不気味で、かつ狂気じみた大規模な動きが、アメリカで現実起こっているらしい。彼らエリート・サイコパス集団は、**fear-monger**（恐怖商人）とよく呼ばれ、恐怖や不安を煽り立てることは支配のための手段でもあるが、それ自体が目的とも考えられる。CIAの無意味な拷問を考え併せるべきである。しかし、FEMAの大量の棺桶や強制収容所が現実役に立つ時が、いよいよ間近に迫ったと考えなければならないだろう。彼らの狂気には計画性があり、筋道が通っている。

GeoengineeringWatch (Sott.net, article by Michael Snyder)

April 22, 2015



エリートたちはいったい何をしているのだろうか？ ここ数日来、我々が掴んでいる事実がいくつかある——ニューヨークの Fed（連邦準備銀行）が大量の作業を、“自然災害”が心配だとして、シカゴに移動させていること。連邦政府が、普通 AR-15 半自動ライフルに用いられる 6,200 万発の弾薬を、“演習”目的で、買い付けていること。NORAD（北米航空宇宙防衛司令部）が、“EMP（電磁パルス）への防備が固い”という理由で、シャイアン山（Cheyenne Mountain）に再び戻ったこと。更に加えて、政府は、大規模な通常ではない“演習活動”を米全土において計画している。いったいこれは、エリートたちが、何か途方もなく大きな出来事に備えて行っていることなのだろうか？ それとも、この異常な活動のすべては、政府の異常な恐怖症からきていると考えてよいのだろうか？

まず、ニューヨーク Fedは何をしているのか、から始めよう。NY 連邦準備銀行の作業を完全に閉鎖しなければならないほど、ひどい自然災害とは何だろうか？ それは、通常には考えられないようなものであるに違いない。そして明らかに、ニューヨーク Fed は、そのようなことが起こることを完全に想定しているのである。ロイター通信によれば、ニューヨーク Fed は、職員をシカゴに移し、“自然災害”のために通常の作業がニューヨークでは不可能になるのに備えて、サテライト・オフィスをそこに建設中である——

<http://www.reuters.com/article/2015/04/14/us-usa-fed-disaster-idUSKBN0N528G20150414>

米連邦準備銀行のニューヨーク支所が、自然災害か他の不測の事態のために、利率の引き上げが近づいた今、その市場調整が不能にならないように警戒して、スタッフを増やし、そのサテライト・オフィスをシカゴに増設した。

市場技術者のある者はニューヨークから転出し、また別の者はシカゴ Fed に設けられたオフィスで雇用された。これは、ほぼ 2 年前、ハリケーン「サンディ」がマンハッタンを襲った後に始まった増設を、よく知っている数人の話である。

シカゴの従業員は、米中央銀行からウォール街への主たる通路であるニューヨーク Fed で、毎日なされていた市場調整のすべてを扱うことができる、と上層部は考えている。

これはとても奇妙なことに思える。

アメリカの歴史を通じて、ニューヨーク Fed の仕事を、長期間にわたって、全面的に閉鎖しなければならぬほどの自然災害が起ったことは、一度もない。

では、彼らは何をそんなに心配しているのか？

このような支障を起こし得るものとして考えられることが、一つある。

東海岸のツナミである。

私はそのことを、別の論文で書いたことがある。しかしそれ以外には、ニューヨーク Fed の作業を、長期間、閉鎖させ得るような自然災害を想像するのは難しい。

<http://endoftheamericandream.com/archives/east-coast-tsunami-if-it-happens-millions-of-americans-could-die>

コメント：彼らが準備しているのは、自然災害でなく、ドルが崩壊したときに東海岸で起こる混乱かもしれない。

もう一つ、今週わかった非常に奇妙なことは、政府が、普通は AR-15 半自動ライフルに用いられる弾薬を、異常に大量に買い込んだことである。次は、[Paul Joseph Watson](#) の論文からの引用である――

<http://www.infowars.com/dhs-to-purchase-62-million-rounds-of-ar-15-ammo/>

祖国安全保障省（DHS）は、6,200万発以上の、AR-15半自動ライフルに用いられる弾薬の買い付けを決めているが、これは、アルコール・タバコ・火器取締局（ATF）が、M855弾丸の禁止によって後退させられた2週間後のことである。

ある [FedBizOpps.gov](https://www.fedbizopps.gov) への今週の投稿が明らかにしたことだが、DHSは、ある会社と契約して、年に.223レミニトン弾薬1,260万ラウンドの供給を、5年間続けるよう要請した。これは総計6,250万発になる。

<https://www.fbo.gov/index?s=opportunity&mode=form&id=9e4b05061ac6a7f71fcbc0cb9dea0791&tab=core&cvview=0>

この要請は、この大量買い付けが、「現在の.223レミニトン弾薬の価格を節約する」意図をもってなされたことを説明する。この弾丸は「米税関・国境警備局」によって、“演習”目的で、全国的に用いられるだろう。

いったい、なぜ、米税関・国境警備局が、これほどの膨大な量の弾薬を、“演習”目的で全国的に必要とするのであろうか？

これは非常におかしな話である。

コメント：膨大な量の戦争資材が「場所に就いた」ことは明らかである。しかし何のために？ 財政破綻が、食料暴動から始まって、社会的崩壊をまねくであろう…

もう一つ別の、とても奇妙に思えることは、NORADが、これだけ長い年月の後で、再びシャイアン山へ戻ることにした事実である。

<http://www.dailymail.co.uk/news/article-3031041/Why-military-moving-Stargate-base-deep-Rocky-Mountains-decade-abandoned.html#ixzz3Wod66mbE>

それは10年近く前に、ロシアからの脅威がなくなりそうだったので、閉鎖された。ところが今週、ペンタゴンは、シャイアン山が、アメリカ軍の最も進歩した追跡と交信設備の本拠地として、再び用いられることになったと発表した。

コロラド州シャイアン山への移転は、司令部の敏感なセンサーとサーバーを、EMP（電磁パルス）攻撃から護るために考えられたものだ、と軍高官は言った。

ペンタゴンは、先週、NORAD と北方司令部に代わって仕事を遂行するために、Raytheon Corporation との間に、7億ドルの契約を結んだと発表した。

NORAD と北方司令部のヘッドである William Gortney 司令官は、「シャイアン山が出来上がった仕方そのものために、それは EMP に対して強いのだ」と言った。

では米軍は、EMP 攻撃が、突然気になり出したのか？

彼らは、[The Economic Collapse Blog](http://theeconomiccollapseblog.com/archives/the-emp-threat-all-it-would-take-is-a-couple-of-explosions-to-send-america-back-to-the-1800s) を読んでいただろうか？

<http://theeconomiccollapseblog.com/archives/the-emp-threat-all-it-would-take-is-a-couple-of-explosions-to-send-america-back-to-the-1800s>

そこが EMP に強いからといって、元の山の中へ引っ越すために、7億ドルの出費をするというのは、かなり思い切ったことである。

彼らは我々の知らないことを知っているのだろうか？

**コメント：上空の流星の爆発が EMP を引き起こしていて、米エリートが宇宙からの脅威を知っていることを示すものだ。**

中でも最も気になるのは、多くの奇妙な“演習行動”が、最近、全国の至る所で目撃されていることである。

例えば、次は、[アイオワ州で行われているもの](http://whotv.com/2015/04/14/statewide-weapons-of-mass-destruction-drill/)についての、ニュース・ストーリーの引用である——

<http://whotv.com/2015/04/14/statewide-weapons-of-mass-destruction-drill/>

今週、あなたは、特別の緊急事態用車両や、戦闘装備を手にし、Hazmat 服や爆弾服を着た公的な治安部隊が、あたりを走り回るのを見るかもしれない。これはデモイン市が、火曜日と水曜日に主催する州全土における演習の一部で、緊急時の要員を、**大量破壊兵器に対処できるように訓練するためのもの**である。

デモイン消防局の Brian O'Keefe は、アイオワ州の緊急時要員は、どんなことにも準備ができていなければならないと言った。

「ご存知のように、我々は、トウモロコシや大豆、チキンの胚発生にかけてはナンバーワンの種子生産者であり、重要な土地の真ん中を占めています。だから、確かにあらゆる州がアクセスしてくるのですが、他の大きな共同体と同じように、我々はターゲットにもなるのです」と、オキーフは語った。

更に次は、ミシガン州で行われている“Northern Exposure”と呼ばれる演習についての、ニュース・ストーリーである——

[http://www.mlive.com/news/muskegon/index.ssf/2015/04/military\\_helicopter\\_to\\_land\\_in.html](http://www.mlive.com/news/muskegon/index.ssf/2015/04/military_helicopter_to_land_in.html)

この州兵の演習は Northern Exposure と呼ばれ、6月中ずっと、ミシガン州全土で行われるものだと言った。Michigan National Guard ウェブサイトによれば、Northern Exposure は、「ミシガン州での大きな演習で、そこでは、**軍は市当局に防衛援助を提供することになっている**」。

<http://minationalguard.com/unit-of-the-week-1462nd-trans-co-3/>

更にもう一つ、アメリカ軍は、アリゾナやカリフォルニアでも、何か“異常な”演習活動を行う予定である——

<http://www.prescottnews.com/index.php/news/current-news/item/25290-realistic-military-training-to-take-place-in-prescott>

もしあなたが、次の2日間ほど、上空に何らかの異常なヘリコプターを見たとしても、何も心配することはない。

第1海兵遠征軍 G-7 が、今週、ヘリコプターの給油ポイントとして、プレスコット市営空港を利用しながら、現実的な軍事演習を行う予定だが、これはアリゾナ州、ナバホ一基地への長距離空爆を容易にするためである。

免許演習 (Certification Exercise, CERTEX) が、2015年4月8-21日に、カリフォルニアとアリゾナのさまざまな演習場所で行われるよう、指令されている。プレスコットでの演習は、4月15, 16日に行われる予定である。

こうしたことすべては、人々がこれまでずっと不安な噂をしてきた演習に、更に付け加わったものである。それは“Jade Helm” (じゃじゃ馬指揮) と呼ばれ、この特定の“非通常戦闘演習”においては、テキサス、ユタ両州が“敵の領土”として指定されるだろう——

<http://www.prescottnews.com/index.php/news/current-news/item/25290-realistic-military-training-to-take-place-in-prescott>

## [military-training-to-take-place-in-prescott](#)

軍の文書によれば、「Jade Helm は、8 週間に及ぶ、合同の軍事および部局間の“非常戦闘演習”で、テキサス、ニューメキシコ、アリゾナ、カリフォルニア、ネバダ、ユタ、コロラド各州を通じて行われる」が、7月15日から9月15日まで行われる演習ドリルを発表したこの文書は、極秘扱いを解かれた。

“グリーン・ベレー”や“ネイビー・シール”それに第82空軍部隊を含む、さまざまな米軍支部隊が、8週間の長期演習に参加するが、この結果、「夜間この地域で航空機が増加する」ことになるかもしれない。

軍隊は、「人口密度の低い未開地の広い領域」で、高度なスキルを磨くことを義務付けられ、「民間人の信用とこの問題の理解を得るために」彼らと協同するであろう。

この演習では、参加者の一部が「市民の服を着て市民の車を運転する」予定で、テキサス州とユタ州を“敵の”領土として指定する。

このような行動に我々は警戒感をもつべきだろうか？

ある人々は確かにそう考える。

人々に頭を搔かせるもう一つの問題は、仮想の“配管問題”で、不気味にも全国的に、ウォルマート店が閉鎖されることである――

<http://www.wtsp.com/story/news/local/2015/04/14/customers-skeptical-about-walmart-plumbing-problems/25783875/>

1つだけでなく、アメリカ中の5つのウォルマート店が、ある場合には、修理に4か月から6か月かかる配管問題のために、閉鎖される予定だ。

こうした閉鎖が行われる場所は、テキサス州リビングストーンとミッドランド、オクラホマ州タルサ、それにロサンゼルス近傍である。

ブランドンのウォルマートについて、私は、ヒルスバラ郡とウォルマートに、なぜ配管修理にこんなに時間がかかるのか、問題につながりがあるのかと訊ねてみた。しかし地方の顧客たちもすでに疑問を抱いていた。

「なぜ、ただの配管問題なのだ？ 店を修繕するのに6カ月もかかるって？」と、顧客のジョン・マンブルは訊ねた。

その通り、本当にトイレを修繕するのに6カ月もかかるのだろうか？

ウォルマートの誰かが極端に無能なのか、それとも、何か怪しいことがここで起こっているのか、どちらかである。

結局、何でもなかった、ということもあり得る。

こうした事例はすべて、関係のない、ただの偶然の一致なのかもしれない。

しかし同時に、そうではないかもしれない。

コメント：それはやって来つつある。それは、来月にでも起こる可能性がある。

<http://www.americanconservativedailynews.com/the-collapse/>

(マイケル・スナイダー、End of the American Dream)

<http://endoftheamericandream.com/archives/signs-that-the-elite-are-feverishly-preparing-for-something-big>